

デジタルシネマについて

2004年2月2日
浜野 保樹

修士論文発表会のため、欠席させていただきます。

本日のテーマについては直接ご関係の方々が多いため、1点だけ触れておきたいと思
います。

デジタルシネマは、コンテンツ産業のフラッグシップとも言える映画の帰趨を握る重要な事
項です。わが国のようにフィルムという流通でハリウッドに事実的に敗北した国ほど、この革
新的な技術から得るものは多く、今後の映像ビジネスに大きな影響を与えるものです。

一方、フィルムの世界流通機構ともいえるハリウッドは、デジタルシネマの普及に積極的
になる誘因は少なく、普及を遅らせようという動きがないわけではありません。アメリカでデジタ
ルシネマに熱心なのは、既存の流通機構から排除されてきたルーカス・フィルムやインディ
ーズ系映画人です。

デジタルシネマは、製作については産業の壁を超え個人にまで及び、流通や公開につい
ても劇場だけでなく、家庭にまで及ぶスケラブルな特性を持ったコンテンツ産業全体に及
ぶ革新的な技術であるため、わが国では積極的に検討すべき事項だと思います。

以上